

川上ダム通信

2014
4
月号



Vol. 103
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



川上ダム建設事業の現状を説明～青山地区自治会連絡会研修会～



青山地区自治会連絡会研修会の様子

平成26年3月5日(水)に、青山地区自治会連絡会の研修会が開催され、その中で、川上ダム建設事業の状況について説明しました。

研修会では、冒頭に当建設所神矢所長より日頃の事業へのご理解に対して感謝を述べた後、川上ダム建設事業の概要、付替県道青山美杉線の工事の進捗状況、ダム事業の検証状況などについて説明しました。



挨拶される藤村青山地区自治会連絡会会長

これに対して、出席された方々からは、ダムや付替県道青山美杉線の完成見込みや、国と水資源機構が実施しているダム事業の検証はいつ終わるのか、などの質問が出されました。

当建設所においては、このダム事業の検証が速やかに終了できるよう予断無くかつ迅速に進め、地元の皆様のご意見等を頂きながら、着実に事業実施に努めてまいりますので、引き続きご理解とご協力の程よろしくをお願いします。

※事業説明会や現場見学会の開催などのご要望がありましたら、お気軽に職員へお声かけください。

【第二用地課 高橋宏行】

伊賀市校長会で「水の調査隊」「出前講座」をPR

平成26年2月26日(水)の伊賀市校長会において、平成20年度から当建設所が行っている「水の調査隊」と「出前講座」の実施内容をご案内しました。

この取り組みは、伊賀市内の小学生を対象に、川上ダム建設予定地やダム周辺的环境について、子ども目で見えて体験し、水の大切さとダムの役割、川上ダムが実施するダム周辺的环境保全の取り組みについて理解を深めることを目的に実施しているもので、平成26年度も引き続きより多くの学校に参加していただけるようご案内したものです。

平成25年度は7月に青山文化センターやまびこ児童の皆さん、大山田小学校の平松区と猿野区^{ましのく}の皆さん、10月には青山小学校4年生の皆さんに参加していただき、日頃はなかなか目にするのでできない国の特別天然記念物「オオサンショウウオ」を間近に見るなど、貴重な体験ができたと好評を頂いております。

【総務課 梅村喜重】



校長会にてPR中

ハラスメントのない風通しのよい職場をめざして

平成26年1月16日(水)、川上ダム建設所と木津川ダム総合管理所との合同で、セクハラ・パワハラ防止について講習会を実施し、77名の職員が参加しました。

講習会には、三重県男女共同参画センター「フレんテみえ」から講師を招き、ハラスメントのチェックリストによる自己診断や、パワハラの具体例を示す動画を見ながらハラスメントの問題を学んだ後、グループに分かれて職場での問題など討議を行い、より意識を高め、発生防止の再確認をすることができました。

グループ討議後の各グループ代表者による意見交換の場では、男女問わず多数の意見が出され、発表する側も聞く側も和気あいあいとした雰囲気、良好な職場であることを確認することができました。今後も相談体制をしっかりとし、風通しのよい職場を目指していきます。

【総務課 菊地滋男】



講習会の様子

ダム用語集 #1' ダムカードの見方

今回のダム用語集は、先月号に掲載した「ダムカード」のおもて面に記載されている記号等の見方を紹介します。

ダムカードのおもて面には、そのダムの写真が中央に記載されており、四隅にはダム名やカードのバージョン情報、ダムの目的やダム型式を示す記号が描かれています。これらが示す内容は以下のとおりです。



ダムカードのおもて面（サンプルは名張市にある比奈知ダムです）

皆さんのお住まいの近くにあるダムは、どの型式でどんな目的を持っているのでしょうか？
ダムカードを入手して確認されては如何でしょうか？

目的記号の凡例

記号	目的と意味
F	洪水調節：出水を調節し、洪水被害を軽減
N	流水の正常な機能の維持：既得取水の安定化・河川環境の保全
A	かんがい用水：農業用水を補給
W	水道用水：水道用水を補給
I	工業用水：工場の操業に必要な水を供給
P	発電：水力発電を行う

ダム型式の凡例

記号	型式
G	重力式コンクリートダム
HG	中空重力式コンクリートダム
A	アーチ式コンクリートダム
GA	重力式アーチダム
E	アースダム
R	ロックフィルダム
MB	可動堰

【調査設計課 遠本和也】

環境用語集 #20 春一番

今回は、今の季節によく耳にする「春一番」についてご紹介します。

「春一番」の意味については、みなさんもなんとなく知っていると思いますが、気象庁では2月の立春から3月の春分の間に、広い範囲（地方予報区くらい）でその年初めて吹く、暖かく強い南よりの風（秒速8m以上）のことを「春一番」としています。



では、由来についてはどうでしょうか。

一説として、安政6年（1859年）3月中旬（新暦）に、長崎県五島沖に出た漁師53名が春の強風に遭い、船が転覆し全員犠牲になってしまったことが由来となり、漁師の間で春先の強い風を「春一」や「春一番」と呼び警戒するようになったのが始まりと言われています。その後、気象用語として使われるようになったそうです。

「春一番」と聞くと、春が来た♪と、ウキウキ気分になりますが、その言葉の裏には悲しい過去があったんですね。

※参照：気象庁HP

【工事課 廣瀬早苗】

水の土木遺産 不動川砂防施設

水資源機構の機関誌「水とともに」のバックナンバーから、2011年2月号「水の話あらかると 水の土木遺産」に掲載された不動川砂防施設（京都府）の紹介です。

同紙には以下の文章（本誌掲載用に一部編集）が掲載されています。

明治初頭の淀川流域の山々は建築物の用材乱伐、戦火などの影響で荒廃を極め、木津川支川不動川でも「水1升到5合の土砂」と表現されるほどの土砂流出により天井川と化し、毎年のように洪水を引き起こし多数の死者を出しました。

明治7年7月、淀川改修の一環でこの地を訪れたオランダ人技師で後に「砂防の父」と呼ばれるヨハニス・デ・レーケはこの荒廃ぶりに驚き、淀川改修には水源砂防強化が重要であることを認識します。

デ・レーケは不動川相谷周辺で試験的な砂防工事を実施し日本人技術者の現地指導を行いました。その後この地において西欧の合理性と日本古来の土砂留め工法を融合した「デ・レーケ工法」を使った近代的な砂防工事が行われ、明治初期に小さなものを含めると数百基にも及ぶといわれる砂防堰堤が造られました。後に「近代砂防発祥の地」と呼ばれるようになった所以です。

現在、不動川の谷間の堰堤群は45基が確認されており、そのうち相谷とその支流にある8基は京都府の有形文化財に指定されています。

現在、これら8基のデ・レーケ堰堤群は、水と緑の憩いの場として整備された不動川砂防歴史公園で見ることができます。



建設から136年後の今も立派に役割を果たしているデ・レーケが指導した堰堤群の一つ。第5堰堤。幅23m、高さ3.5m。切石の谷積み（角を立てて積み方）。

「不動川砂防施設」の記事の詳細は、水資源機構のホームページ内にある「水とともに」のバックナンバーに掲載されています。

この他にも魅力的な水に関する土木遺産を掲載しておりますので是非一度ご覧ください。

水資源機構ホームページ <http://www.water.go.jp/honsya/honsya/pamphlet/kouhoushi/index.html>

【工務課 日隈晃輝】

お詫び

3月号の記事で誤りがありましたので訂正いたします。

大雪による積雪の状況を写真でご紹介している記事のタイトル「青山町が銀世界に一変!!」

訂正前：青山町 訂正後：阿保地区 大変失礼しました。

本紙に対するご意見と掲載記事を募集します♪

当建設所では、読者の皆様により一層親しみながら川上ダム通信をお読みいただけるよう、本紙に対するご意見や掲載記事を募集しています。詳細については、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

【問い合わせ先】 総務課 梅村 TEL：0595-52-1661 Mail：somu1@lily.ocn.ne.jp

※掲載記事については、広告など個人の営利目的のものはお受けいたしかねますのでご了承ください。

イベントのお知らせ

伊賀上野NINJAフェスタ

開催日：4月5日（土）から5月6日（火）

開催場所：伊賀市街地

お問い合わせ：伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会事務局

TEL：0595-22-9670

桜山公園【桜】

例年の見頃：4月上旬から中旬

開催場所：桜山公園（伊賀市阿保）

お問い合わせ：伊賀市青山支所振興課

TEL：0595-52-3220

編集後記

だんだんと日も長く、暖かくなってきました。そしてぼかぼか陽気に誘われて・・・zzz。



おっと、睡魔せん（^-^）

また新しい年度が始まります。本年度も川上ダム建設所共々、川上ダム通信をよろしく願います。

【広報誌発行事務局】

編集長	神矢（所長）	
デスク	梅村（総務課長）	田中（工務課長）
記者	湯本（総務課）	渡辺（総務課）
	本山（第一用地課）	高橋（第二用地課）
	遠本（調査設計課）	飯島（環境課）
	廣瀬（工事課）	日隈（工務課）